令和7年度の変更点についての提案

○群馬県高体連テニス専門部からの提案

提案1 令和7年度新人大会個人戦予選の大会から、サービスノーレットの採用

顧問アンケートの結果、ノーレット採用が42/46でした。さらに、総体からと新人からが同じくらいでしたが、混乱のないようにと判断し、新人からの採用に決めました。

提案2 令和7年度新人大会個人戦予選(シングルス・ダブルス)のみ、セミアドバンテージ方式の採用

ここ数年、猛暑が続いており、今年も猛暑が予想されています。昨年も熱中症で救急車を呼びました。そこで8月の新人大会予選に限り、熱中症(猛暑)対策のため時間短縮をはかってセミアド方式を採用したいと考えました。今年度はセミアド方式でお願いします

提案3 令和7年度からの個人戦ダブルスストレートインの規定追加

※「ダブルスのポイントが20ポイント以上の場合は、ストレートイン」とする。

ダブルスベスト4に入ると「5」ポイントです。ペアで入れば、ストレートインになります。そこでベスト4に1人が4回入ったポイント(5×4=20)でストレートインにしたいと考えました。

たとえば

2大会連続優勝者は現在ではストレートインになりませんが、この場合1人で7ポイント×2=14になります。新しいペアのもう一人が6ポイント(ベスト16が3ポイント×2=6)あればストレートインになるということです。

提案4 団体戦のオーダー用紙形式の変更(別紙参照)

提案5 個人戦の上位大会出場権の規定追加

※「ただし、権利者の出場が不可能な場合は繰り下がることがある。」とする。

関東大会・インターハイ出場者の次の順位の選手が次点となります。

上位大会出場権を持つ選手が出場できなくなった場合、次点の選手が出場します。

令和7年3月7日

群馬県高体連テニス専門部